



特別国民体育大会「燃ゆる感動かがしま国体」総合開会式開催！

10月7日（土）、白波スタジアムにて、特別国民体育大会総合開会式が開催された。今回の総合開会式では、感染防止を目的とした制限等はなく、本部役員25名に加え、テニス・ソフトボール・バレーボール・ボウリング・ラグビーフットボールの競技団体より、47名の選手及び監督、合計72名が福岡県選手団として総合開会式に参加した。

総合開会式実施前、本県選手団全員で現地結団式を行った。住吉副団長（県スポーツ協会理事長）より選手団に対して、「今大会は、※国民体育大会の名称で行われる最後の大会です。「チーム福岡」一丸となって、2年連続8位入賞を目指しましょう！」と激励の言葉がかけられた。

※令和6年度より「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変更される。



雄大にそびえ立つ桜島を背に、総合開会式に参加する都道府県選手団約3000名が入場行進を行った。本県選手団は、旗手を務める安藤選手を先頭に、足並みの揃った力強い入場行進を行い、会場の注目を集めた。

【安藤周粋選手（ウエイトリフティング：八幡中央高校）のコメント】

このような貴重な経験は、普段絶対できないと思うので、関係の方々には感謝しかありません。また、福岡県選手団の思いが詰まった県旗はずっしりと重く、心が一つになっているように感じました。このような経験をさせていただき、ありがとうございました。



現地結団式の様子



総合開会式の様子